

2 取組方針の点検結果 (平成30年度)

評価	評価の状況	点検結果
◎	年度目標値を達成している	16
○	年度目標値との差が、年度目標値の50%以内である	12
△	年度目標値との差が、年度目標値の50%を超えている	3
×	推進していない	2
合計		33

目指すべき環境像 基本目標	個別目標	取組方針	指標	目標値	達成年度	現状	担当課	評価	
自然と共生するまちづくり 基本目標1	1-1 生物の多様性や自然環境を保全する	武田氏館跡周辺における貴重植物の生態保護	貴重植物の種類	現状維持	各年度	2種	歴史文化財課	◎	
		水田における冬期湛水管理の推進	冬期湛水管理を実施する水田の面積	年間0.3haの実施		0ha	就農支援課	×	
	1-2 水環境を保全する	水源かん養機能等の高い森づくりの推進	水源林植樹の集いにおける整備面積、参加者数	総面積 3ha	平成25年度～平成34年度	0.3ha	林政課	◎	
				総参加者数 3,000人		413人	上下水道局水保全課		
	1-3 緑を保全する	地域や家庭における緑化の推進	花いっぱい緑いっぱい運動での花の苗の配布数	年間11万株	各年度	107,214株	公園緑地課	○	
			緑化教室の開催回数	年間5回の開催		5回			
		身近な緑地等の確保及び保全	市民と協働で管理する公園・緑地等の箇所数	前年度以上		41カ所	公園緑地課	◎	
			地球温暖化防止につながる森林整備の推進	森林整備の面積	100ha	平成25年度～平成34年度	16.17ha	林政課	◎
	快適環境のまちづくり 基本目標2	2-1 大気汚染を防止する	大気汚染に係る環境基準を達成する	環境基準達成率(光化学オキシダント)	前年度より改善	各年度	94%	環境保全課	○
				環境基準達成率(光化学オキシダントを除く物質)	達成率100%		99.9%		
大気汚染に関する公害の発生を減らす				大気汚染に関する公害苦情件数	前年度より減少		44件		
2-2 水質汚濁を防止する		水質汚濁に係る環境基準を達成する	環境基準達成率	達成率100%	各年度	100%	環境保全課	◎	
			生活排水対策を推進する	生活排水処理率	達成率99%	平成34年度	97.1%	環境保全課 上下水道局計画課 給排水課	○
2-3 土壌・地下水汚染を防止する		土壌汚染の発生を防止する	汚染発生件数	発生しないこと	各年度	0件	環境保全課	◎	
			地下水に係る環境基準を達成する	環境基準達成率		達成率100%	90.9%	環境保全課	○
2-4 騒音・振動・悪臭の発生を防止する		騒音に係る環境基準を達成する	道路交通騒音に係る環境基準達成率	前年度より改善	各年度	98.6%	環境保全課	◎	
			生活空間の騒音に係る環境基準達成率	達成率100%		100%			
2-4 騒音・振動・悪臭の発生を防止する		騒音・振動・悪臭に関する公害の発生を減らす	騒音・振動・悪臭に関する公害苦情件数	前年度より減少		65件	環境保全課	○	
	化学物質による環境リスクを低減する		化学物質の環境中への排出量・移動量	前年度より改善(県全体)	各年度	未公表	環境保全課	未評価	
2-6 快適環境を保全する	良好な景観や自然環境を保全する	規制等への違反件数	発生しないこと	各年度	1,039件	都市計画課	○		
		武田氏館跡整備事業の推進	整備済み面積		前年度より増加	1.14ha	歴史文化財課	○	
2-7 地域美化の促進(不法投棄や犬等のふんの発生防止・空き地等の適正管理)	不法投棄の発生を減らす	不法投棄発生件数	前年度より減少	各年度	99件	収集衛生課	◎		
2-8 資源物等の持ち去りを防止する	資源物等の持ち去り行為を減らす	持ち去り行為発生件数	前年度より減少	各年度	0件	収集衛生課	◎		
低炭素のまちづくり 基本目標3	3-1 再生可能なエネルギーを推進する	温室効果ガス排出量の削減	温室効果ガス排出量	853千t-CO ₂	平成42年度	未公表	環境保全課	未評価	
		太陽エネルギーの活用(住宅用太陽光発電システムの導入)	温室効果ガス削減量	1,100t-CO ₂ /年		未公表	環境保全課		
	3-2 クリーンエネルギー自動車の普及を推進する	クリーンエネルギー自動車の普及促進	急速充電器の整備箇所数	市内20カ所	平成42年度	0カ所	環境保全課	○	
			普通充電器の整備箇所数	市内50カ所		1カ所			
3-3 低炭素型ライフスタイルへの転換を推進する	住宅・機器による省エネの推進	市が管理する道路照明灯のLED化数	毎年度4基	各年度	—	道路河川課 環境保全課 協働推進課 商工課 公園緑地課	—		
3-4 低炭素型移動手段への転換を推進する	エコドライブの推進	講習会参加人数	100人/年	平成42年度	85人	環境保全課 管財課	○		
		エコ通勤・エコ通学等の推進	エコ通勤優良事業所数		延べ15カ所	2カ所	環境保全課	◎	
		公共交通機関の利用促進	公共交通機関の輸送人員		現状維持	各年度	316万人	交通政策課	○
循環型のまちづくり 基本目標4	4-1 3Rの実施を推進する	家庭系可燃ごみの減量の推進	市民1人1日あたりの可燃ごみ排出量	480g以下	各年度	497.00g/人・日	減量課	△	
		有価物・資源物の回収の推進	資源化率(リサイクル率)	28%以上	平成34年度	20.20%	減量課	△	
		最終処分量を減少する	焼却残渣の排出量	前年度比1%減	各年度	—	処理課 減量課 収集課	—	
		3R啓発の推進	ごみ減らし隊による延べ活動回数、延べ参加人数	活動回数180回 参加人数1万人	平成24年度～平成34年度	276回 13,777人	減量課	◎	
	4-1 3Rの実施を推進する	事業系廃棄物の排出を削減する	事業系一般廃棄物の排出量	前年度より減少	各年度	23,899t	収集衛生課	△	
			4-2 持続可能な農業を推進する	経営耕地面積の維持	経営耕地面積	881haを確保	平成32年度	972.7ha	農政課 就農支援課
4-2 持続可能な農業を推進する	エコファーマーの推進	エコファーマー認定人数	年間3人	各年度	0人	就農支援課	×		
環境教育を推進する 基本目標5	5-1 イベントの開催や人材育成を推進する	地域・家庭における環境教育の推進	地球温暖化防止関係の出前講座や講習会・イベント等の参加者数	100人/年	平成42年度	8,605人	環境保全課	◎	
		地域の人材育成の推進	地域コーディネーターの人数	延べ100人		15人	環境保全課	○	
	5-2 学習の場づくりを推進する	保育園(所)・幼稚園・小学校における学習の場づくり	参加者数	1,600人/年	平成42年度	2,600人	環境保全課	◎	
	5-3 自然とのふれあいの場づくりを推進する	自然環境とのふれあい事業の推進	水道水源クリーン作戦への参加者数	参加人数200人	各年度	233人	上下水道局水保全課	◎	
	5-4 市民参加を推進する	多様な担い手による地域の温暖化防止活動等の推進	地域で活動する団体と協働・連携によるイベント等の開催	5回/年	平成42年度	2回	環境保全課	○	